



京阪ホールディングス株式会社と地域連携協定を締結しました



(左から)寺本 謙 北区長、平川 良浩 京阪ホールディングス株式会社取締役専務執行役員

北区役所は6月28日、京阪ホールディングス株式会社と地域連携協定を締結しました。同社は、アートイベント『キテミテ中之島』や『中之島なつまつり』など、京阪中之島沿線での様々なイベントを通して、地域を盛り上げています。本協定により、地域の活性化やにぎわい創出などにさらに連携して取り組みます。

地域課
☎06-6313-9951
FAX06-6362-3823

第12回天神天満阿波おどり2024

今夏も阿波おどりが天神天満にやってくる!! 阿波おどりのお囃子と踊り子の下駄の音が天神橋筋商店街を埋め尽くします。

- 8/25(日) 10:25~18:30
- 京阪シティモール前広場、八軒家浜(10:25~11:30)、大阪天満宮(13:00~13:20)、天神橋筋四番街・天神橋筋3丁目・天神橋筋2丁目各商店街(14:10~16:00)、大阪天満宮・天神橋筋2丁目商店街(16:00~18:30)



- 阿波おどり教室 **無料** **要申込**
【初心者大歓迎】
8/24(土) 18:00~20:00
北区民センター(北区役所隣)
【講師】大阪天水連
【申込】8/23(金)まで電話・FAX・メールにて受付 ※FAXには住所・氏名・電話番号を明記
☎徳島県関西本部
☎06-6251-3273 FAX06-6251-3380
✉kansaihonbu@pref.tokushima.lg.jp

- 天神天満阿波おどりフォトコンテスト
【テーマ】2024天神天満阿波おどり
【応募締切】9/13(金)
詳細は天神天満阿波おどりホームページ▶
【主催】天神天満阿波おどり実行委員会、天神橋筋商店街連合会(2・3丁目)、天神橋筋四番街商店街、関西阿波おどり協会

中之島の精霊流し

「精霊流し」は、お盆の伝統行事です。毎年御船でお供物を流します。亡くなられた大切な方に思いを馳せて。

- 8/15(木) 16:00~20:00 ※荒天中止
- 大阪国際会議場前港、堂島大橋南詰東、中之島バンクス遊歩道(中之島5-3-67) ※昨年の場所から300m西に移動



株式会社ビッグアップル・プロデュース
☎06-6446-0860 ✉info@b-a-p.com

詳細は中之島バンクスホームページ▶



中之島なつまつり2024

恒例の「まちなかで ゆかたきて ぼんおどり」開催! 中之島にお住まいの方やオフィスワーカーが集う新しいコミュニティ。盆踊りやキッズコーナーに加え、ワールドグルメをテーマにした屋台もずらり。

- 8/26(月) 16:45~21:00
- 大阪国際会議場1階プラザ(中之島5-3-51)、中之島バンクス(中之島5-3-60)
- 中之島なつまつり2024事務局 ☎06-6446-0860



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑤

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献をめざす大阪・関西万博に向けて、みんなで取り組む「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジから北区での活動をご紹介します。



SCIENCE de DOYA(サイエンスでドヤ!)

サイエンスショーで広げる科学を楽しむ文化の輪

吉岡亜紀子さん

「ロケットってどこまで飛んで行くと思いますか?」「宇宙!」「ここでロケットを打ち上げてみましょう」「えっ?!」...楽しいやり取りが続きます。

SCIENCE de DOYAは、大阪市立科学館(中之島4)でサイエンスショーのデモンストレーターとして活躍するボランティア有志が、大阪・関西万博に向け、さらなる発信をめざして立ち上げたチームです。ボランティア1期生の吉岡亜紀子さんは命名について「ショーを見たお客さんが、あ、そういうことか! 私って科学わかるやん!と自信を持ち、ドヤ顔になれるように。そしてせっかくなら大阪弁で」と話します。

サイエンスショーを実演する楽しさを一般の人にも味わってもらおう、と2009年度に導入された同館の科学デモンストレーターは、現在15人が活動中。本業は会社員、薬剤師など様々で、吉岡さんは弁理士です。約1年の養成講座を受けた後、週末を中心に実演を担当し、国内外の科学館との交流も重ねてきました。そんなボランティアの実演を学芸員が支えます。

「コンテンツや道具は学芸員さんが全て準備してくれて、後は好きなようにやっていていいよ、と言ってもらえる。ボランティアがドヤ顔できるようにサポートしてくれて、私たちはお客さんがドヤ顔になる手助けをするんです」。同館は8月1日(木)にリニューアルオープン。「更に科学に親しみやすい空間になり、ますますドヤ顔が見られると思います」

バランスの実験で、指1本で傘を支える体験をした日、子どもたちは傘を指で支えながら帰っていきます。そして「物には重心があつてね」と家族や友だちに語ります。吉岡さんは、「そんなふうに、科学を楽しむことが文化になればいいですね」と話しています。



花火のサイエンスショーでは、花火や色の秘密を科学で解き明かす



共創チャレンジ・SCIENCE de DOYAのページ▶

質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

《SDGsチャレンジ》学んでドヤ顔しちゃおう

新旧様々な“推スポット”がある北区! 最新情報と共にお伝えします

長柄橋の明倫観世音菩薩 天神橋8-13

大阪大空襲で亡くなった400人を慰霊

天神橋筋を北へ進むと、淀川に架かる長柄橋の南詰に観音像が立っています。上空に時折、伊丹空港に向かう飛行機が姿を見せます。

昭和20年6月7日、第3回大阪大空襲で逃げ場を失った多くの人々が旧長柄橋下の河川敷に避難。そこへ米軍機が爆弾を落とし、機銃掃射を加えたことから約400人が亡くなりました。多くは女性と子どもでした。戦後間もなく、遺族が供養のために建立したのが観音像。地域の人たちが大切に守り、毎年6月7日、近くの正蓮寺が法要を行いました。



観音像には供花が絶えない

今年の法要にも、近所の人や正蓮寺が併設する幼稚園と保育園の園児らが参加。渡島正教住職は「今、飛んでるのは平和な飛行機やけど、昔は爆弾を乗せた飛行機が飛んで来て、たくさんの方が亡くなったんやで」と語り掛けました。「数年前までご遺族も参られていました。体調を崩され、もうよう参りません、とおっしゃられて...」。遺族の思いをしっかり引き継いでいきたい、と話します。

弾痕の残る旧橋脚の一部を保存

観音像の横には「旧長柄橋弾痕」の銘板がはめ込まれたコンクリートの塊が置かれています。前面には大小二つの弾痕がくっきり。旧長柄橋の橋脚には、機銃掃射による多数の弾痕がありました。昭和58年に現在の長柄橋に架け替える際、住民の強い要望で橋脚の一部が保存されました。通勤通学の自転車やジョギングの人が行き交う橋のたもとで、観音像と共に悲惨な歴史と平和の尊さを伝えています。



旧長柄橋の弾痕

終戦から79年経ち、今の日本では戦争は遠いことのように感じるかもしれませんが、でも、争いはどこにでもあります。人によって考え方が違うのは当たり前。お互いを尊重して解決するにはどうすればいいか。そんなことを考える場所になればいいですね。

正蓮寺住職 渡島正教さん



教えて! 北区の“推スポット”

④